

平成26年度局配分枠予算について

文化市民局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

文化市民局では、限られた予算を効率的、かつ、効果的に活用するため、より一層の事務事業の見直しを行い、新規事業の予算化や既存事業の充実を図った。

また、所管する文化、スポーツなど数多くの市民利用施設の維持、管理及び修繕に係る予算の確保にも努め、更なる市民サービスの向上を図っていく。

平成26年度は、以下の重点方針に基づき、予算編成を行った。

- ①文化財や伝統文化の保存・継承及び文化芸術の振興を通じた文化芸術都市の創生
- ②地域コミュニティ活性化及び市民活動推進施策の推進
- ③市民が安心安全に暮らせるまちづくりの推進
- ④あらゆる人権問題の解決及び男性と女性が共に社会参加できる共同参画社会の推進
- ⑤市民が気軽にスポーツに親しめる環境の整備

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

ウィングス京都開館20周年記念事業	1,500千円
太陽光パネル及び蓄電池設置(醍醐支所)	86,000千円
マイナンバー法に係る住民基本台帳システム改修	175,161千円
美術館オリジナルグッズ作成	6,720千円

<充実事業>

京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」	全体事業費 257,950千円(うち充実分 17,850千円)
五感で感じる和の文化事業	全体事業費 13,000千円(うち充実分 3,000千円)
“京都をつなぐ無形文化遺産”制度の運用	全体事業費 10,900千円(うち充実分 6,500千円)